

和歌山合同法律事務所50周年を祝う会



事務局

和歌山市十二番丁10 和歌山合同法律事務所内
TEL 073-433-2241

ありがとうございました

記念企画第一弾

50周年記念レセプション

おかげさまで

大盛況

半世紀の歴史に思いを馳せたひととき



ともに歩んで50年 未来につなぐ想い

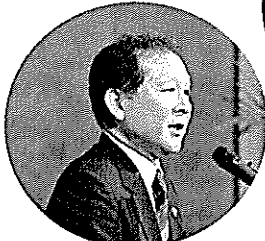
九月二十日、祝う会企画の第一弾、「和歌山合同法律事務所創立五十周年記念レセプション」が、ダイロイネットホテル和歌山を会場に、二百人の参加者を集め開催されました。レセプションの様子をお伝えします。

この日の司会進行は、釈迦内板唄の主演女優、有馬理恵さんが務めてくれました。
まず教職員によるバンド「ラックチャイルド」によるオープニング演奏。主催者あいさつは、祝う会代表である、山本純嗣医師と阪本康文弁護士。続いて祝辞は、石川元也弁護士と、良原栄三弁護士。

ラックチャイルド



山本代表



阪本代表



石川弁護士



良原弁護士

二面に
第3回祝う会を
ご案内しています

石川弁護士は、野間さんが大阪の東中法律事務所から和歌山にいられた当時を知る方。「君は天下を取る人や」と、野間さんを和歌山に送り出した思い出を語られました。

良原弁護士は、野間さんの初パートナーになられた方。「私は、

お祝いよりお礼を言う立場」と言いつつ、合

（二面に続く）

同法律事務所と名付けた。思い出などを語られました。

祝う会代表の一人、武内正次さんによる乾杯の後、懇親の部へ。

ラックチャイルドの演奏を聴きながら、関わりのある方々からスピーチをいただき、五〇年の歩みをまとめたスライド上



さあ次は「釈迦内枢唄」公演だ!!



映。

その後、有馬理恵さんによる「私と釈迦内枢唄」の話。

芝居の半分は観客が作るもの

有馬さんはさすが、プロの女優。釈迦内枢唄の主役、藤子になりきった語りの口に、お酒が入って声高に話していた会場が、みるみる引き込まれて行きました。

「芝居の半分は役者が作りませんが、後の半分はお客さんが作るもの」
「芝居は一人で観に行か

「釈迦内枢唄」公演

とき／11月13日(水)

昼・夜・2回公演

ところ／県民文化会館小ホール

入場料／3000円

第3回祝う会

10月29日(火)
午後6時30分～

和歌山県教育会館(和教組) 4階大会議室

第3回祝う会では、9月20日の記念レセプションの総括と、「釈迦内枢唄」公演のチケット普及の状況確認、今後の取り組み方、さらに、公演当日の要員の確認と分担など、内容の濃いものになると思われます。お忙しい時期とは思いますが、ご出席のほどお願いいたします。



市川代表

最後は、現事務所員の紹介と「百周年宣言」。閉会は、祝う会代表の一人、市川純夫和大名

チケット集約はじめます

「釈迦内枢唄」のチケット普及状況は、現在約七〇%となっています。

胸突き八丁というようにこれからが大変です。

目標は昼、夜それぞれ三五〇です。売りすぎず、

目標を達成するために、緻密な集約が必要になってきます。